



Famileaf

妊婦向け体調管理・生活支援アプリケーションの
利用による、妊婦・パートナーの健康意識の変化の検証
最終報告資料

Feb. 2024

事業の目的

妊婦さんに関する以下の課題の解決を目指す。

- **妊婦が信頼できる情報に容易にアクセスできず不安をかかえていること**
- **サポートが必要な職場内の妊婦に適切な支援が提供しづらいこと**

実施項目

妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の提供

実施事項①

- 対象** 実証先団体に在籍の妊婦とそのパートナー、パートナーが妊娠している社員とそのパートナー
- 内容** 妊娠期の体調管理や自身のケア等に関する情報、および体調管理ツールを継続的に提供する。
また、アプリの利用により、どの程度妊娠期のヘルスリテラシーが向上するか調査する。
- 目標** 妊婦50名、パートナー30名の確保

はぐゆー
hug+u



妊娠中に気になる体調項目を多くそろえており、症状の記録も可能です。
そのほか、週ごとの健康のアドバイスや、体調が悪い場合に病院へ連絡する目安も掲載しており、妊娠中の生活を広く支援します。

実施項目

実証先団体が提供している女性・妊婦向け支援サービスの妊婦に対する周知

実施事項②

対象 実証先団体に在籍の妊婦

内容 妊婦（特に妊娠公表前の妊娠初期の妊婦）に対し、貴社の女性・妊婦向け支援内容をメールで直接にお知らせすることで、働きやすさの体感や貴社へのロイヤリティが向上するか調査する。

目標 妊婦30名の確保

今年度事業で、勤務先企業のサポート体制を妊婦に届けることが、働きやすさやロイヤリティに貢献することが分かれば、次年度以降でアプリ内で勤務先からのメッセージを受信できる機能の追加を検討します。

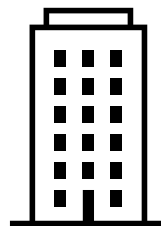
はぐゆー
hug+u

実施体制

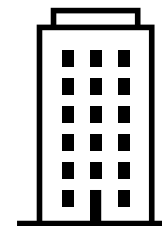
代表団体



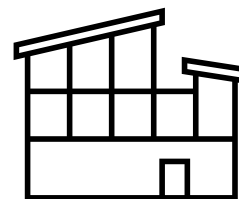
実証先（協力団体）



株式会社ワコール様



SOMPOひまわり
生命保険株式会社様



茨城県庁様

実施事項①の成果 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆう）」の提供

実施した内容

コンテンツ追加やアプリの操作性・機能性改善のためのアプリ改修を実施した。

また、事業開始時に想定していた株式会社ワコール様に加え、茨城県庁様、SOMPOひまわり生命保険株式会社様にご協力いただき、お勤めの妊婦さん・パートナーさんにサービスをご利用いただきアンケートを実施した。

追加で10名（妊婦7名、パートナー3名）のお子さまをお持ちの方にインタビュー調査を行い、妊娠中に役に立ったサービスやあれば助かったサービスについて伺った。

参加した人数

妊婦 **22**名 パートナー **6**名

目標(50名)に対し44%

目標(30名)に対し20%

事後アンケートの回収数

妊婦 **15**名 パートナー **3**名

回収率 68%

回収率 50%

実施事項①の成果 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の提供

アンケート結果

共通事業評価指標3-1～3-3のすべてが実証事業前後で増加した参加者の割合

※事前・事後アンケートの両方に回答した参加者のみから算出

6%

目標値 70%

過去1-2年の仕事ぶりに関する質問（3-2）と過去4週間の仕事ぶりに関する質問（3-3）では事前アンケートよりも事後アンケートで低スコアをつけた参加者が多かった。妊娠中の方を対象とした事業であり、業務量の削減をしたり産休に入る方が多いことが影響しているものと思われる。

一方で他社員と比較した自身の仕事ぶりに関する質問（3-1）では事後アンケートで上昇傾向が見られた。

共通事業評価指標3-1で実証事業前後で同値以上となった参加者の割合

※事前・事後アンケートの両方に回答した参加者のみから算出

83%

実施事項①の成果 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の提供

妊婦およびそのパートナーに対し、妊娠期の体調管理や自身のケア等に関する情報、および体調管理ツールを継続的に提供することで、妊娠期のヘルスリテラシーが向上したことを検証するため、以下の分析を行った。

女性の場合：女性の健康についてのたくさんの情報から、自分に合ったものを選ぶことができる。
 男性の場合：女性の健康についてのたくさんの情報から、職場の女性社員へ必要な情報を提供することができる。

共通事業評価指標2-3のスコアが実証事業前後でよりよく変化した参加者の割合

※事前・事後アンケートの両方に回答した参加者のみから算出

50%

変化がなかった参加者を含めると83%

女性の場合：自分の体のことについて、アドバイスや情報を参考にして実際に行動することができる。
 男性の場合：女性特有の健康課題について、アドバイスや情報を参考にし、理解している。

共通事業評価指標2-4のスコアが実証事業前後でよりよく変化した参加者の割合

※事前・事後アンケートの両方に回答した参加者のみから算出

33%

変化がなかった参加者を含めると78%

情報の取捨選択に関しては半数の参加者でスコアの改善が見られたが、行動変容レベルでは改善した割合は33%にとどまった。

実施事項①の成果 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の提供

インタビュー結果

インタビュー調査にご協力いただいた方から、以下のようなご回答を得られた。

Q. 妊娠中に役立ったサービスは何か？

A.

妊娠後期までは出産予定日までの日数や赤ちゃんの状態が確認できるアプリを、後期以降は不安を和らげるため、掲示板で先輩ママの声を調べるが多かった。

30代 女性

掲示板サイトの回答はさまざままでどの情報を参考にすればよいか難しい面があるが、ひとそれぞれの妊娠があると思えば安心につながった。

30代 女性

妊婦とパートナーでアカウント連携ができるアプリを使って、日頃の日記的なやりとりをしていた。今では思い出としてアプリを消さずに残している。

30代 男性

実施事項①の成果 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の提供

インタビュー結果

インタビュー調査にご協力いただいた方から、以下のようなご回答を得られた。

Q. 妊娠中にあればよかったサービスは何か？

A.

夫が慣れないながらも料理を作ってくれていたが、摂るべき・避けるべき食材や栄養素についての知識がない。文字だけでなく写真付きで妊婦向けレシピを紹介してほしい。

30代 女性

パートナーに妊娠の大変さを理解してほしい。任意だと協力してくれないので、パートナーも一定期間はおもりを必ず抱かないといけない法律にしては？

30代 女性

自治体の妊婦が集まる集会有ったが、比較的若めで妊娠したため年齢層が合わず馴染めなかった。同年代の妊婦と交流できる仕組みがあればありがたいと思った。

20代 女性

実施事項②の成果 実証先団体が提供している女性・妊婦向け支援サービスの妊婦に対する周知

実施した内容

株式会社ワコール様から参加いただいている妊婦さんに対し、ワコール様にて実施されている女性・妊婦向けのサポートサービス等の情報を週次でメールにて直接配信した。

アンケート調査（実施事項①と共通）では、本事項が役立ったか、ほかにお勤め先と連携した機能としてどのようなものがあると役立つかを伺った。

参加した人数

妊婦 **9**名

目標(30名)に対し30%

事後アンケートの回収数

(実施事項①と共通)

妊婦 **7**名

回収率 78%

実施事項②の成果 実証先団体が提供している女性・妊婦向け支援サービスの妊婦に対する周知

アンケート結果

Q. 2-11 あなたは下記について当てはまりますか。「私は、現在の会社に対し、愛着を持っている。」

	人数	割合
会社に対する愛着の度合いが上昇した	2名	29%
会社に対する愛着の度合いが変化しなかった	4名	57%
会社に対する愛着の度合いが低下した	1名	14%

Q. 2-14 利用・導入したフェムテック等サポートサービスについて、あなたの心身、キャリア、組織に及ぼした良い影響を具体的に教えてください。

	人数	割合
現在の勤務形態での勤続ができると思った	1名	14%
あまり変わらなかった	6名	86%

▶ 勤務先に対する愛着はわずかながら上昇傾向が見られたが、残念ながら具体的に認識できるレベルでの働きやすさの改善にはつながらなかった。

実施事項②の成果 実証先団体が提供している女性・妊婦向け支援サービスの妊婦に対する周知

アンケート結果

Q. お勤め先の支援制度の紹介は役に立ちましたか？

メールでの配信は役に立った

2名

役に立ったが、メール以外の方法（アプリ通知等）で通知してほしい

2名

役に立たなかった・不要だ

3名

情報発信自体は半数以上の方に役立つものとして評価いただいたが、アンケート対象者以外へのインタビューでもLINEでメッセージが届く方が便利だという声も多いことから、実装する場合はアプリ通知およびLINEメッセージでの発信を行う。

課題と対応策①

課題

企業様にご協力いただくにあたり、どのようなメリットがあるのか明確に提示できておらず、スムーズな連携が難しいときがあった。



今後の対応策

ご協力いただくにあたり、事業の内容やモニターの募集要項等を作成してお渡ししていたが、協力によるメリットを明確に記載したページを設けていなかった。今後の同様の資料作成時は、協力によるメリットを記載したページを設け、面談時等において十分に告知を行うようにする。

課題と対応策②

課題

「妊娠中」という属性はかなり限定的であり、協力企業を経由して数多く募集することに困難があった。



今後の対応策

企業にご協力いただき妊婦を探すという流れではなく、大型の産科病院に通院・入院されている妊婦から働いている・直近まで働いていた方を探す方法を検討する。

(別事業として計画を進めている研究事業では、年間出生数の多い産科病院に研究フィールドとしてご協力いただく想定となっている。)

弊社の妊婦向けサービスに対する感想や、妊娠期にあるべきサービスについての調査を行う場合は、妊婦に対象を必ずしも限定する必要はないため、数年以内に出産された方を含めて募集する。

課題と対応策③

課題

アプリに搭載している機能の数が多すぎることを懸念していたが、実際のアンケートではさまざまな機能が1つのアプリで完結している方がありがたいとの声もあり、機能を集約する方針は問題なかった。

一方で、インタビューでも言及されることが多かった、特にニーズが高いと思われる掲示板機能や買い物リスト機能については各種機能として分かりやすい場所に配置されていない状況である。



今後の対応策

アンケート・インタビュー結果を踏まえて、アプリ内の機能配置の見直しを行う。

今後の予定と期待

事業① 妊婦・パートナー向け体調管理・生活支援アプリ「hug+u（はぐゆー）」の開発・運用

本実証事業期間の終了後も、App Store・Google Playにてアプリの配布を継続的に実施します。

関係者様にご利用いただく際はインタビュー等のフィードバックにもご協力いただいております、アプリコンテンツ・機能の改善に役立てています。

現在妊娠中の方、今後妊娠する可能性のある方でご協力いただける方がいらっしゃいましたら、お声掛けいただき、アプリ利用・インタビューへご協力いただけますと幸いです。

今後の予定と期待

事業② 妊婦の栄養状態をより適切に測定するための評価指標開発研究

現在、妊婦が妊娠後適切な栄養状態にあるかどうかの判定指標は体重のみとなっています。

しかし、体重が十分であっても実は栄養が足りていない方や、体重は増えにくいですが実は栄養は十分である方もいらっしゃるはずです。

このような課題を解決するためにより適切な栄養状態の評価指標を開発すべく、まずは生体電気インピーダンス法を利用して算出される「**Phase Angle**」が妊娠中の栄養指標として有用であるかを検証します。

この「**Phase Angle**」が妊娠中の栄養指標として使用できれば、より早期から、より正確な栄養評価と介入が可能になると考えられます。

ご協力団体の募集

弊社事業にご協力いただける団体様がいらっしゃいましたら、
お声掛けいただけますと幸いです。

事業①・②ともに、ご協力いただける企業様・病院様の支援が欠かせません。

特に事業②に関しては、妊婦の栄養状態改善に向けた大きなステップとなる可能性を秘めており、医療界にインパクトをもたらすものと信じております。

妊婦がより安心して出産できる社会の創造にご関心をお持ちの団体様がいらっしゃいましたら、協業の可能性をさまざまに検討させていただきたく、お声掛けいただけますと幸いです。

ご連絡先：contact@fami-leaf.com

Thank you



Famileaf



ファミリーーフ